

科目名		担当者氏名	授業形式	単位	開講時期
栄養カウンセリング		秋山 佳代	講義	2	前期
必修・選択	修了要件	選択			
	資格要件				
学習目標	<p>疾病構造の変化に伴い、医療は治療から予防へとシフトし、栄養教育も従来の指導型から支援、サポート型へと変化している。</p> <p>クライアントの身体面、心理面、社会面を合わせて総合的にアプローチし、栄養士・管理栄養士に求められるカウンセリングの基本的技法を習得する。</p>				
授 業 計 画					
回	項 目	授 業 内 容			
1	栄養カウンセリングとは	栄養カウンセリングにおけるカウンセリングの位置づけ			
2	栄養カウンセリング技法（１）	栄養カウンセリングの基本的態度			
3	栄養カウンセリング技法（２）	栄養カウンセリング理論の活用			
4	栄養カウンセリング理論	行動療法			
5	栄養教育と保健行動	保健行動の理論、保健信念モデル			
6	食行動理論（１）	食行動に影響を及ぼす要因			
7	食行動理論（２）	食行動と学習			
8	ライフステージと食行動（１）	妊娠・妊婦、乳幼児の食行動			
9	ライフステージと食行動（２）	学童期、青年期の食行動			
10	ライフステージと食行動（３）	成人期の食行動			
11	ライフステージと食行動（４）	壮年期の食行動			
12	栄養カウンセリング応用（１）	個別栄養教育における行動療法			
13	栄養カウンセリング応用（２）	集団栄養教育におけるグループアプローチ			
14	栄養カウンセリング応用（３）	栄養カウンセリングを必要とする栄養教育			
15	栄養カウンセリング事例	行動療法やコーチングを活用した実践事例			
参 考 書	小松啓子・大谷貴美子編「栄養科学シリーズNEXT 栄養カウンセリング論」講談社 2007				
学習上の注意（自己学習、学外学習など）	実践力を身につけるように、積極的な姿勢で取り組むこと				
評価の方法と時期	グループワークへの参加の仕方、出席日数、適時提出するレポート、発表内容で総合的に評価する。				